



<6年生:平和学習 week 2/6~2/10>

6年生は2/6~2/10まで、毎日「自分の大切なものを守る」をテーマにオンライン学習をしました。これには生駒市内の6年生が参加しており、他校の子どもたちと意見交流しました。



2/6は「平和を知る」(大学の先生から平和とは何か?なぜ戦争が起こるのか?を聞きました。)

2/7は「争いの起こり方」(情報操作の罠にかかってしまった子どもたち。紛争の原点を体験しました。)

2/8は「広島を知る」(広島の市電からの中継です。原爆投下時に車掌をしていた女性から話を聞きました。)

2/9は「世界を知る」(多様性のカードゲームを体験後、台湾の独立運動についての見解を聞きました。)

2/10は「考えを伝えよう」(他校の6年生と学びや考えを発表し合いました。)

ウクライナとロシアの戦争が始まって1年以上が経過しました。悲惨な情報はテレビやインターネットでまだまだ流れそうです。お子さんが戦争について親御さんに聞いてきたり、意見をしたりする時があると思いますが、「親が子どもと戦争についての話をするときには気をつけること」として、元防衛医科大学の教授は次のように話されていました。

①会話を避けない。(子どもが知っていることを確認し、自分に何ができるかを考えさせる。)

②ずっと話し続けるときは不安が強いときなので、30~40分で終わる。

③誤った情報を話すときは、なぜそう思うのかを聞いて、正しい情報も知らせ、情報の取捨選択をさせる。

大人が特定個人への怒りや憎しみを口にすることは、子どももそれを聞いていることを念頭に置かなければならないということです。…これは戦争や紛争の話の中だけではありません。攻撃的な会話は子どもの心を不

安定にするからです。



戦争について、大人は情報を整理しつつ、子どもたちと冷静に話ができるような心の準備をしておくことが大事だと思いました。



<令和4年度 後期 教職員自己評価 について>

2月1日に後期の自己評価を行いました。年間2回の児童アンケートと2学期末に実施した保護者アンケート、日々の子どもたちの学校生活や参観・懇談での保護者の様子、学力テスト、体力テスト等の結果を見たり思い浮かべたりして自分の教育活動を振り返るのが教職員自己評価です。前期は1学期末に実施しましたので、それから半年以上が経過しています。教職員が学校教育目標「自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる」目指し、10個の具体的な達成目標がありましたが、その達成度を考えるのが自己評価です。



達成目標・評価指標	肯定的回答
制帽を着用して登校すること、校内では名札を付けることを指導し、「できた」「おおむねできた」と回答する子どもを70%以上にする。	86.2%
廊下を走って怪我等の事故に至ったり、廊下を雨天時の遊び場にしたりすることがないように、教職員がそれぞれの立場で右側歩行を指導する。	89.7%
「善悪の判断」「正直、誠実」「規則の尊重」についての道徳科の指導を特別支援学級も含めて充実させ、各学期に成果と課題を振り返る。	79.3%
友だちや先生に真心を持って接し、協力してよりよい学級や学校を作ろうとしている児童を80%以上にする。	86.2%
児童の問題行動への対応をSCやSSW、サポートセンターとともに学校や学年全体で話し合う機会を持ち、教員が「安心して対応できた」と答える割合を80%以上にする。	78.6%
本に興味を持たせ、学校図書室の年間貸出冊数を15000冊以上にする。	57.1%
ICTを活用して児童が資料を共有したり、対面で会えない人と交流したりする機会を持つ。	78.5%
ICT支援員や指導主事による研修を学期に一度は実施し、教職員のICT活用能力を高める。また、学年会や特支担当会でICTの効果的な活用を話し合い、自分の授業に取り入れる。	65.5%
学校運営協議会や地域学校協働本部の意見を取り入れながら、地域と学校が相互に連携し、協働して行う様々な活動を実施する。	55.2%
子どもたち一人ひとりに向き合うことができる教育を目指して働き方改革を推進する。クロックアウト時刻や網紀やマナーを守ること、机上を整理して書類の紛失や業務の停滞を防ぐことなど、教職員が調和して学校教育活動に臨む。	89.7%

学校図書館の利用ですが、2月9日の時点で貸出冊数は12083冊でした。年度末までに15000冊には届かないかもしれません。教員は自分の受け持つ授業(全ての教科)で、子どもが本に向かう姿勢を作らなければならないと思います。地域との連携・協働についても推進していかなければならない課題です。R5年度は4年生以上が参加するクラブ活動(年間10日間ほど)の指導や支援に、地域の方や保護者ボランティアさんに来て



ていただくことを検討しています。

児童の制帽や名札の着用は目に見えて良くなっていますので、指導の効果が伺えます。なお、詳細については学校ホームページに記載していますのでご覧ください。